

2022年度事業・活動報告

【概説】

2020年初頭からの新型コロナウイルス感染拡大という大きな社会背景の制約があったにもかかわらず、特定非営利活動法人キッズ王国はできる限りアクティブな活動を続ける努力を行い、大きな成果をあげることができた。

とりわけ、子ども食堂事業は通年で月に2回の開催を実施することができた。これにより、財政的には昨年度の5倍以上の規模に至った。

【学校林保全事業】

廃校になった旧野友小学校の自然環境を整備し、学童保育事業の拠点とするため、荒廃が進む学校林の保全管理を目的として、2022年度もエコーいばらき環境保全基金による助成金8万円を受けることができた。これにより、2022年度は8月3日と10月27日に旧野友小学校の敷地、周辺道路等の草刈り作業等を行った。しかし、学校林の保全に関しては所有者である銚田市教育委員会から立入禁止措置を理由に事業の全面的な進展はできない状況のままである。



【自然環境保護事業】

昨年度に引き続き、2022年度も公益財団法人・河川財団の河川美化・緑化助成事業より40万円の助成金がキッズ王国に交付され、これを活用して美化を呼びかける屋外看板を10月27日に設置した。2022年度の設置場所



は水処理センターに近い安塚公園の北浦湖畔水門脇を選んだ。看板のデザインは昨年と同様のものであるが、「持続可能な生態系保護のため、湖畔には降りないようにしましょう」の一文とSDGsのロゴマークを

追加で記載した。

また、銚田市まちづくり推進会議自然環境部会が実施する安塚公園付近の清掃活動にも会員が参加して清掃活動や特定外来生物の駆除活動を行った。

【こども食堂事業】子ども食堂《タベルナ》

2021年11月に開始した子ども食堂《タベルナ》は、2022年より月に2回の開催となり、2022年度は通年で月2回の開催を実現した。

子ども食堂は生活困窮者家庭の救済が当初の第一義の目的であったが、近年では子どもたちにとって家庭、学校に次ぐ第三の居場所づくりが注目されるようになってきている。子ども食堂《タベルナ》にとっても、子どもたちが楽しく過ごせる場となるように、尽力している。昼食後の時間に《タベルナ》タイムという特別企画の催しを実施することとし、2022年9月からは毎月欠かさず実施することができた。今後も継続して、内容を充実したものにしていきたい。



また、事業の財政的な裏付けとしては、民間公益団体の助成金、銚田市の補助金などのほか、恒常的に事業を支援することを目的として、2022年春にタベルナサポーターズク



ラブを発足させた。年度末では会員数が130名、寄付金に該当する会費は884,000円となっており、今後も継続的な市民への協力要請が必要である。さらに、銚田市二重作に「子ども食堂タベルナ応援隊天辺店」が2022年春に開店した。地元市民の協力により、規格外の新鮮野菜などを格安で販売するなどして、収益の一部が寄付金として大きな金額となり、子ども食堂運営のために力となっている。

【その他】

会議

- ・ 通常総会 1回開催
- ・ 臨時総会 1回開催
- ・ 理事会 12回開催

広報誌の発行

2022年 6月 広報紙「キッズ王国通信」第4号発行

2022年12月 広報紙「キッズ王国通信」第5号発行